



横浜銀行 ロンドン駐在員事務所

週間トピックス (2017.4.28)

＜今週のトピックス＞

EU 予算の分担金

3月29日に英国のメイ首相がEUに離脱通知を提出したことにより、EU初の離脱交渉が開始されますが、最初の大きな争点として、EU予算の分担金の扱いに注目が集まります。

(1) EU 予算の決定方法

- EU 予算は数年間にわたるプロジェクトに対応するため、EUの基本条約に則り、5年以上の多年次財政枠組 (Multiannual Financial Framework) をEU理事会規則として策定し、各年の予算はその枠組に基づいて決定されます。現在は2014年～2020年の7年間の中期計画があり、それに基づき2017年の予算も決定されています。
- 現在の2014年～2020年の予算額は1兆250億ユーロ(約123兆円)とEU加盟国のGNI(国民総所得)の1.23%となっています。
- 各国の拠出金の分担は、①伝統的な独自財源(関税や砂糖課税)②各国の付加価値税の一定割合③各国のGNIに基づく分担拠出金で算出されます。

■2017年EU予算案

EU 加盟国	拠出額(百万ユーロ)	シェア
ドイツ	28,554	21.4%
フランス	20,142	15.1%
イギリス	17,359	13.0%
イタリア	15,146	11.4%
スペイン	10,631	8.0%
オランダ	7,760	5.8%
ベルギー	5,408	4.1%
スウェーデン	4,286	3.2%
ポーランド	4,052	3.0%
オーストリア	2,848	2.1%
デンマーク	2,637	2.0%
フィンランド	1,815	1.4%
アイルランド	1,811	1.4%
ポルトガル	1,646	1.2%
ギリシャ	1,604	1.2%
チェコ	1,542	1.2%
ルーマニア	1,494	1.1%
ハンガリー	1,053	0.8%
スロバキア	721	0.5%
ブルガリア	433	0.3%
クロアチア	425	0.3%
リトアニア	400	0.3%
スロベニア	394	0.3%
ルクセンブルグ	318	0.2%
ラトビア	245	0.2%
エストニア	207	0.2%
キプロス	166	0.1%
マルタ	92	0.1%
合計	133,189	100.0%

- EU内でNo2の経済大国のイギリスの拠出額が少ない理由は、United Kingdom correctionとして、拠出額の算定の一部に66%の優遇があるためです。
- これはEU予算の分配が農業政策に対するものが多く、イギリスの分配が拠出額に対し少ないため1984年当時のサッチャー英首相の交渉により、優遇が始まりました。
- 2017年度予算案ではイギリスの拠出金には、▲4,858百万ユーロが優遇されています。
- イギリスは通貨はユーロを導入せず、入出国審査なしで国境を出入りできるシェンゲン協定にも加わらずといった他にも、EU内で特別な地位を得ていたことがわかります。

(データ: European Commission)

(2) EU 予算の分担金

- EU 離脱の大きな争点の一つが、EU 側から英国に請求される見込みの EU 予算の分担金の問題です。まだ金額は明らかにされていませんが、一部報道では 600 億ユーロ (約 7 兆 2 千億円)ともされています。その請求は **Divorce Bill**(離婚手形)とも呼ばれています。
- この算出の根拠はまだ具体的には示されていませんが、一般的には下記のとおりと言われています。

① コミット済みの EU 予算の分担金

EU 予算は数年間にわたるプロジェクトに多年次予算となっているため、そのプロジェクトや予算策定時にイギリスがコミットした EU 予算の分担金の支払。

② EU 職員の年金

EU の公的年金 (PESO) は未積立制度であり、発生する際に年間 EU 予算の範囲内で費用がかかる運営となっています。そのためイギリスが加盟している間に発生した将来の債務をカバーするために、一括で支払を請求するもの。

③ EU の融資の保証

EU のハンガリー、アイルランド、ポルトガル、ウクライナに対する貸付は 495 億ユーロ (約 6 兆円)に達しており、これに対する責任として将来の義務へのコミットか前払いか。

④ 移転費用

イギリスにある EU 機関の移転費用。

- これらの費用は、イギリスが持つ EU 資産で相殺できるとの意見もあります。EU の総資産は約 86 億ユーロ、売却可能資産は 139 億ユーロで、イギリスのシェアは 2.7 ~3.4 億ユーロ (約 320~400 億円)とされています。またイギリスは現在の市場実勢に合わせ、これらの資産の再評価を要求することにより、その金額は増える可能性があります。
- これに対し、イギリスのメイ首相を初め、各大臣も **Divorce bill** には「馬鹿げている」、「妥当でない」と言った反応を示しています。

EU 予算等の規定は、EU 離脱を想定して作られてものではないこともあり、政治的に決めていくことが多く、今後もその交渉は難航を極めることが予想されます。

	4/21	4/24	4/25	4/26	4/27
FTSE 100(英)	7114.55	7264.68	7275.64	7288.72	7237.17
CAC 40(仏)	5059.20	5268.85	5277.88	5287.88	5271.70
XETRADAX(独)	12048.57	12454.98	12467.04	12472.80	12443.79
OMX20(デンマーク)	927.47	938.87	944.82	954.40	964.46
BUX(ハンガリー)	2057.15	2045.88	2064.27	2047.73	2056.15
RTS(ロシア)	1084.17	1116.58	1120.89	1119.11	1106.92

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。